

アゼルバイジャンの公立病院当局(TABIB)

アゼルバイジャンの公立病院、診療所を管轄する医療地域局(13 か所)の中央統括機関として、「医療地域局管理本部(TABIB)」があります。TABIB は大統領令により 2018 年に設立され、日本政府が医療分野で協力を行う際のカウンターパートであるとともに、当国の公立病院と日本の企業、病院の交流を促進する上でも重要な機関です。

TABIB のグルバノフ長官から話を伺う機会がありましたので、ご紹介します。

1. 日本からは、草の根無償資金協力で多くの診療所を供与いただき深く感謝していますが、日本の企業、病院との交流、協力関係も築きたいと望んでいます。
2. 当国の医療水準は一部の最新鋭病院を除きまだまだ低く、日本のような医療技術が優れた国の協力、技術導入が不可欠です。日本企業が他国で医療機器、技術の提供で成功した事例があれば当国でも採用したいと考えています。病院の管理運営、業務効率化のノウハウ、取組も我々の関心事項であり、セミナーの実施など具体的提案があれば喜んで対応いたします。
3. 医療分野における知的支援、人材協力も重要なテーマであり、両国病院間の提携を希望します。例えば、最新設備の揃った公立病院である「新病院(Yeni Klinika)」と日本の病院が提携できれば、診療に関する日本側からのコンサルティング、日本の医療専門家の当地訪問(医療サービス提供)など双方の利益に叶う取組もできるでしょう。なお、「新病院」では、ロボティックアーム手術用機材の供与(及び使用方法に関する研修)を要望しています。
4. 医療機器・用品について、多くの病院で日本製品を使用していますが、メンテナンスや部品調達で困難に直面するケースが少なくありませんので、この点に関する協力も期待しています。また、TABIB は医療機器・用品の調達に当たり現地製品を優先しているところ、日本企業が当国(例えば自由経済地域)で製造拠点を投資してもらえれば、当該日本製品の調達が容易になります。
5. このほか、当国の医療・病院事情に関するご質問や、様々な交流のご提案にお答えする用意がありますので、遠慮なく TABIB までご連絡ください。

(参考) TABIB 連絡窓口 (「日本大使館の紹介」とお伝えください)

Mr. Ramin Burjaliyev, International Cooperation Division

international@tabib.gov.az

+994 55 732 1183 (mobile, WhatsApp)

(以上)